

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の8名の方に審議委員をお願いしており、毎月1回（2月、8月は休会）番組について、ご意見を伺い、今後の番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 平成29年5月度 番組審議会概要

平成29年5月11日（木）

14時00分～15時00分

テレビ静岡本社 3階 会議室

— 出席委員 —

高木 正和(委員長) 戸崎 文葉(副委員長) 石田 美枝子
木村 精治 上柳 正仁 齋藤 照安 中野 友章 瀬口勇一郎

— 議 題 —

番組名 「第33回 日本平桜マラソン」

放送日時 平成29年4月2日（日）16時05分～17時20分

制作著作 テレビ静岡

— 番組内容 —

今年で33回目を迎えた日本平桜マラソン。かつて静岡市と清水市を跨ぎ、両市の合併促進を目標としたイベントも、合併実現から14年を経てすっかり地元の春の風物詩として定着した。メインレースの23.5kmの部は、標高差280mというアップダウンの厳しい環境で、箱根駅伝を目指す大学エリートランナーが多数参加し、その他のコースも10km・5km・2.4kmと幅広く、本格派からビギナーまで、幅広いランナーが参加している。番組では、エリートーのデッドヒートから、一般参加のファンランなど、約6千人ランナーがそれぞれの楽しみ方でレースと向き合う姿を紹介した。

— 審議概要 —

- ◎全体を通じて、楽しんで観ることができた。
- ◎23.5kmのレースは白熱した展開で、ドラマチックな結末に感動した。
- ◎高低差がきつく「仮想箱根駅伝」とされる、レースの特徴がよくわかった。
- ◎地元出身の選手がフォーカスされており、走法の紹介を含め興味深く観られた。
- ◎トップランナーだけでなく、一般市民の表情や様子が紹介されていてよかった。
- ◎応援ハイクや、ゲストのインタビューにメリハリを感じた。
- ◎スタッフが力を合わせて苦勞して番組を作っていることが伝わった。
- ◎夕方にゆったり振り返って観られる時間帯がよかった。
- ◎「レース」と「市民マラソン」の紹介する割合について、「バランスが取れていてよい構成だった」や、「構成上別にした方がよかった」との意見が出た。
- ◎スタジオの司会・ゲスト・解説者のコメントについて、「聴きやすく分かりやすかった」や、「競技シーンとごちゃ混ぜでスッキリしない」との意見が出た。
- ◎字幕スーパーの色やデザイン、内容やタイミングにもっと工夫が欲しかった。
- ◎地元高校出身の選手をもっと取り上げて欲しかった。
- ◎関門でカットされるなど、レースの過酷な部分について伝えた方がよかった。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りで参考とさせていただきます。

次回の番組審議会は平成29年6月8日（木）の予定です。